



2023年9月期 第2四半期 決算説明書き起こし

リビン・テクノロジーズ株式会社（東証グロース：4445）
2023年5月23日

代表取締役社長 川合 大無：リビン・テクノロジーズ株式会社の代表しております、川合と申します。よろしくお願いいたします。

2023年9月期第2四半期の決算説明をはじめさせていただきます。

2023年9月期第2四半期ハイライト

営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
15.14億円	2.00億円	2.01億円	1.28億円

通期業績予想に対し、営業収益 43.3%、営業利益 40.2%の進捗状況。
第2Q期間（1～3月）では過去最高の業績となり、着実に伸長。
下期偏重の業績計画の中において堅調に推移。

- 下期偏重の事業計画のため、3Q以降の営業収益増による利益積み上げを目論む。
- 月間平均クライアント数が、2,171社（2022年9月期第4四半期比+83社）。
- ARPUが、129,802円（2023年9月期第1四半期比+25,391円）。
- 『ぬりマッチ』・『メタ住宅展示場』は、期中の収益貢献に向け、営業活動に注力。
- 2023年2月に、不動産管理会社向け営業支援SaaS『BAIZO KANRI』事業の譲受契約を締結。引き続き、2023年9月期の重点施策であるM&Aに注力。

LIVING TECHNOLOGIES INC. | 2

まず、2023年9月第2四半期のハイライトです。

営業収益 15.14 億円、営業利益は 2.00 億円、経常利益は 2.01 億円、当期純利益 1.28 億円となりました。

通期業績予想に対し、営業収益は 43.3%、営業利益は 40.2%の進捗です。第2四半期単体では、過去最高の営業収益で、着実に伸長しております。

事業計画が下期偏重になっている中で、第2四半期までの業績は堅調に推移しております。

月間平均クライアント数は、2022年9月期第4四半期から83社増加し、2,171社となりました。ARPU（クライアント平均請求金額）は、129,802円、2023年第1四半期から25,391円増加しました。

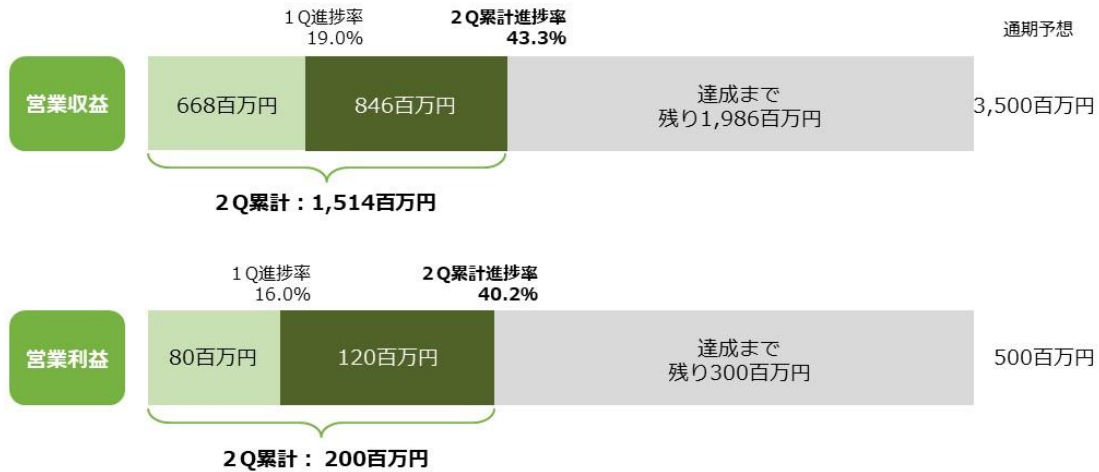
新サービスの『ぬりマッチ』と『メタ住宅展示場』は期中の収益貢献に向け、営業活動に注力しております。

2023年2月には、不動産管理会社向けの営業支援のSaaSである『BAIZO KANRI』事業の譲受契約を締結しました。今期の重点施策であるM&Aには、引き続き注力してまいります。

営業収益・営業利益の通期業績予想進捗

下期偏重の業績計画の中、第2Qから業績伸長。
営業収益、営業利益とも通期計画に対し40%超の進捗率まで到達。

- 2023年9月期 2Q累計営業収益：15億1,400万円 通期予想比43.3%の進捗
- 2023年9月期 2Q累計営業利益：2億円 通期予想比40.2%の進捗



LIVING TECHNOLOGIES INC. | 3

営業収益・営業利益の通期業績予想に対する進捗です。

営業収益・営業利益とも通期業績予想に対し、40%超の進捗率です。

営業収益は通期予算が35億円に対し、15.14億円で、進捗率は43.3%となりました。
営業利益は通期予想が5億円に対し、2億円で、進捗率は40.2%となっております。
これは社内通りの進捗です。

2023年9月期第2四半期P/L

- 通期業績予想に対し、営業収益43.3%、営業利益40.2%と計画通り進捗

(千円)	2022年9月期 通期	2022年9月期(第19期) 第2四半期 (2021年10月~2022年3月)	2023年9月期 通期	2023年9月期(第20期) 第2四半期 (2022年10月~2023年3月)	進捗率
	実績	実績	予想	実績	
営業収益	3,029,520	1,508,726	3,500,000	1,514,463	43.3%
営業費用	2,649,836	1,273,925	-	1,313,673	
営業利益	379,683	234,801	500,000	200,789	40.2%
営業利益率	12.5%	15.6%	14.3%	13.3%	
営業外収益	3,521	1,626	-	930	
営業外費用	2,720	707	-	447	
経常利益	148,071	235,719	500,000	201,272	40.3%
税引前当期(四半期)純利益	380,375	235,719	-	201,272	
法人税等	144,950	85,393	-	72,973	
当期(四半期)純利益	235,425	150,326	272,000	128,299	47.2%

第2四半期までのP/Lはご覧の通りです。

営業収益・営業利益ともに、社内計画通り進捗しています。

■ 四半期業績（営業収益）

- 2023年9月期第2四半期の営業収益は、8億4,600万円
- これまでの第2四半期単体で、過去最高を更新

四半期営業収益の推移



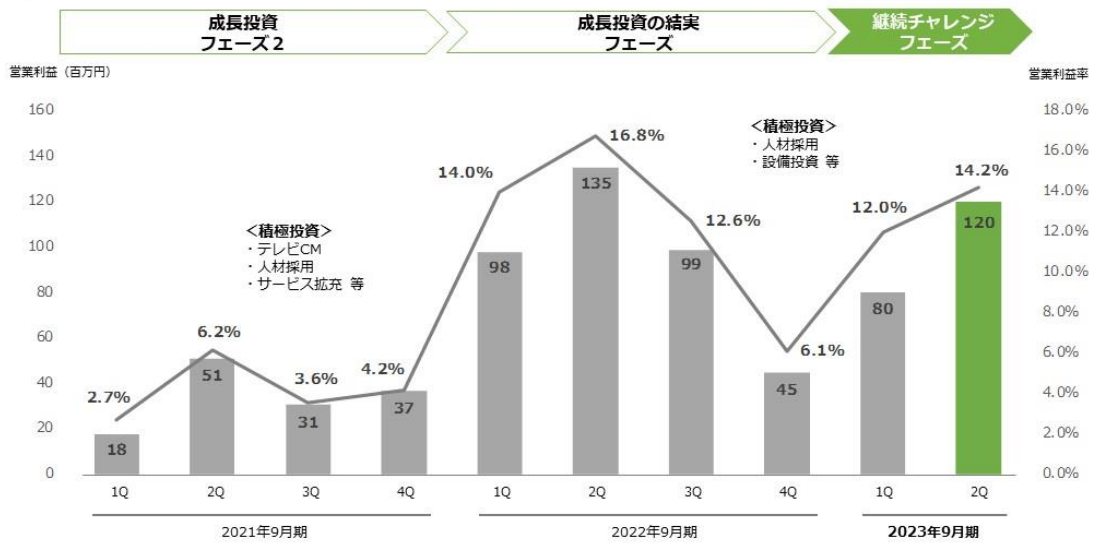
四半期ごとの営業収益の推移グラフです。

2023年9月期第2四半期の営業収益は、第2四半期単体で見ますと、8.46億円となり、第2四半期単体で過去最高を更新しました。

四半期業績（営業利益・営業利益率）

- 営業利益、営業利益率ともに高水準

営業利益・営業利益率の四半期推移



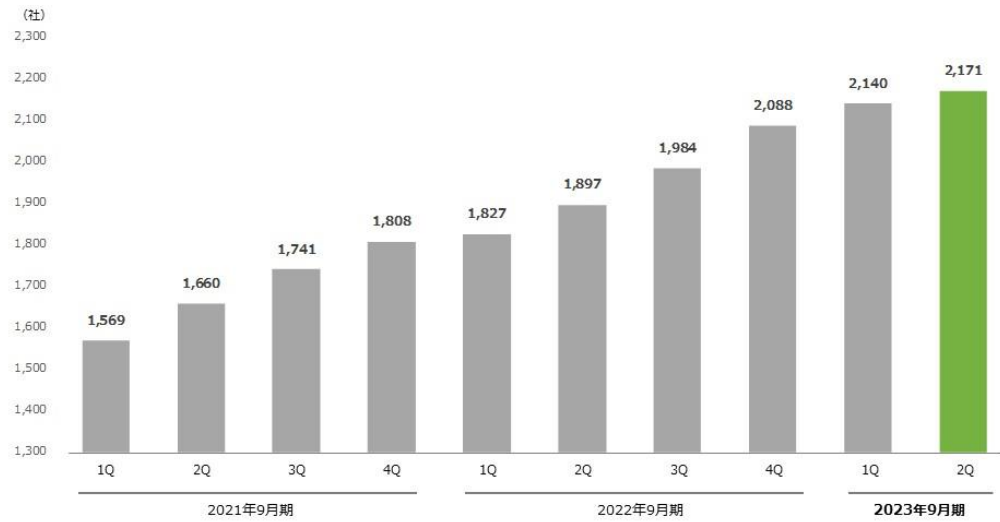
LIVING TECHNOLOGIES INC. | 6

続きまして、四半期ごとの営業利益、及び営業利益率についてです。
 営業利益に関しましては 第2四半期単体で1.2億円となりました。営業利益率は
 14.2%と高水準になっております。

不動産プラットフォームサービスのKPI①

- 月間平均クライアント数は堅調に推移し過去最高を更新

月間平均クライアント数（稼働ベース）



LIVING TECHNOLOGIES INC. | 7

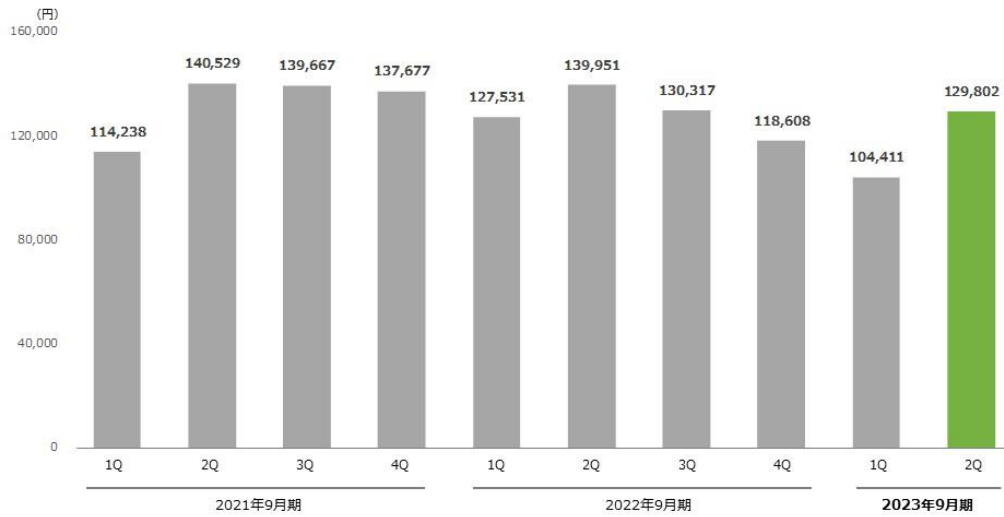
KPI の一つ目、稼働ベースの月間平均クライアント数に関しましては、堅調に推移しております。

第2四半期時点で、2,171社となり、過去最高を更新しました。

不動産プラットフォームサービスのKPI②

- 営業収益増加に伴い、ARPU（クライアントあたり月間平均営業収益）が改善

ARPU（クライアントあたり月間平均営業収益）



LIVING TECHNOLOGIES INC. | 8

KPI の二つ目は、ARPU（クライアントあたりの月間平均営業収益）です。

第2四半期は129,802円となり、第1四半期と比べ、増加しました。これは、営業収益の増加に伴うものです。

2023年9月期第2四半期B/S

- 四半期純利益の計上により、利益剰余金が1億2,800万円の増加

B/S前期末との比較

(千円)	2022年9月末	2023年3月末	前期差
資産合計	2,008,437	1,988,419	▲ 20,018
流動資産	1,854,308	1,720,589	▲ 133,719
現金及び預金	1,279,834	1,127,609	▲ 152,225
売掛金	488,497	569,206	80,709
固定資産	154,128	267,829	113,701
負債合計	865,186	713,869	▲ 151,317
流動負債	719,082	625,287	▲ 93,795
1年以内返済予定の長期借入金	150,842	130,838	▲ 20,004
未払金	273,041	215,037	▲ 58,004
固定負債	146,104	88,582	▲ 57,522
長期借入金	146,104	88,582	▲ 57,522
純資産合計	1,143,251	1,274,549	131,298
利益剰余金	776,213	904,513	128,299
負債純資産合計	2,008,437	1,988,419	▲ 20,018

B/S はご覧の通りになります。

利益剰余金が 1.28 億円増加しました。

2023年9月期 重点施策と進捗状況

- 通期業績予想を達成すべく、5つの重点施策を推進中

5つの重点施策			2Qまでの進捗状況
1	クライアント数の増大	<ul style="list-style-type: none"> ・主力の「不動産売却領域」のクライアント数増加は、最優先事項 ・新サービスのクライアントの増大 	月間平均クライアント数 2022年9月期第4四半期比 +83社
2	新サービスの収益化	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁塗装マッチングサービス『ぬりマッチ』 ・VR住宅展示場『メタ住宅展示場』 	『メタ住宅展示場』 VRモデルハウス掲載棟数 2022年9月比 +331棟
3	M&Aの成約	<ul style="list-style-type: none"> ・事業領域の拡大 ・新しい収益源の創出 	成約目標 2件 現在 1件 『BAIZO KANRI』事業 を譲受
4	粗利フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBマーケティング効率の改善 ・粗利の高い商材の積極営業 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客効率改善の兆し ・高粗利商材のクライアント数が増加傾向
5	組織の改編	<ul style="list-style-type: none"> ・全部門を代表取締役の直下に置く ・部門の増設により専門性を高め、業務遂行力を強化 	第2四半期で完遂

LIVING TECHNOLOGIES INC. | 10

続きまして、この2023年9月期の重点施策とその進捗状況についてです。
 ご覧の通り、2023年9月期は、5つの重点施策を掲げております。

一つ目は、クライアント数の増大です。

主力サービス『[リビンマッチ](#)』における、「不動産売却領域」のクライアント数増大を最優先事項に据え、同時に、新サービスのクライアント数増大を目指しております。進捗としましては、稼働ベースで2022年9月期第4四半期末比+83社となっております。

二つ目は、新サービスの収益化です。

外壁塗装のマッチングサービス『[ぬりマッチ](#)』と、VR住宅展示場『[メタ住宅展示場](#)』の収益化を目指しています。『[メタ住宅展示場](#)』に関しましては、VRモデルハウスの掲載棟数が2022年9月末比+331棟となっております。

三つ目は、M&Aの成約です。

M&Aにより、事業領域の拡大と、新たな収益源の獲得を目指しています。今期の目標が、2件のM&A成約を掲げておまして、現在1件の成約となっております。2023年2月に『[BAIZO KANRI](#)』事業を譲受いたしました。

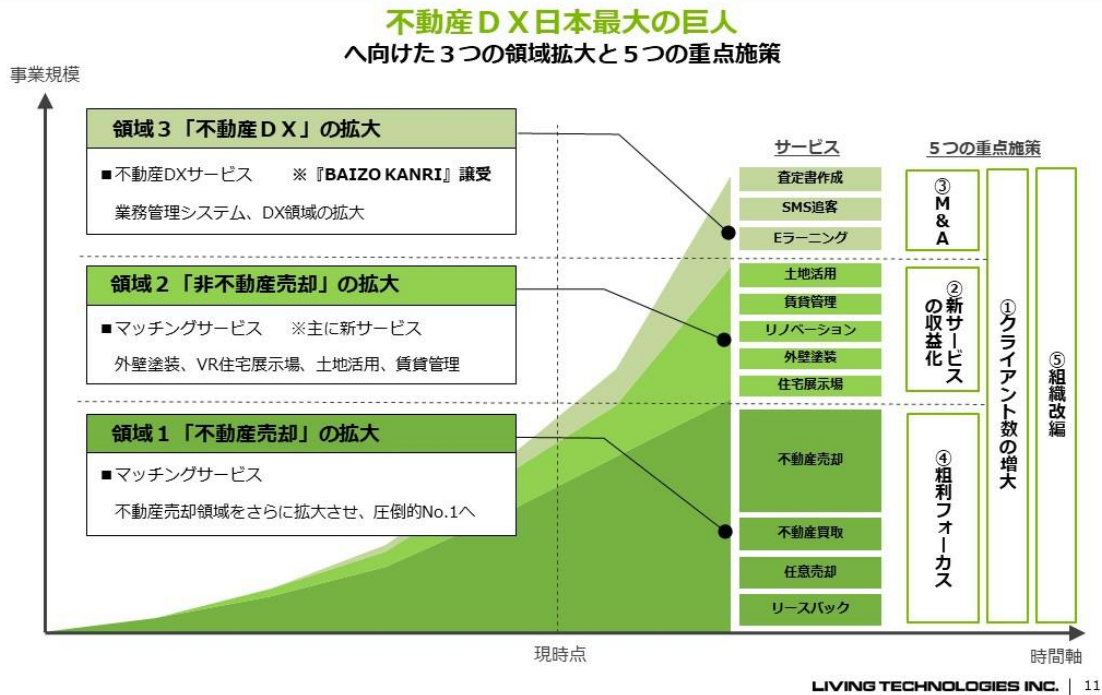
四つ目は、粗利フォーカスです。

WEB マーケティング効率の向上と、粗利の高い商材の積極営業を行っています。マーケティングに関しましては、集客効率改善の兆しが出てきております。高粗利商材をご利用いただいているクライアントが増加傾向にあります。

5つ目は、組織の改編です。

全部門を、代表取締役である私の直下に配置すると同時に、部門を増設し、専門性を高め、業務遂行力の向上を目的としています。こちらに関しては、第2四半期で組織の改編自体は完遂しております。

3つの領域拡大と5つの重点施策



3つの領域拡大と5つの重点施策についてです。

拡大させる領域の一つ目は、「不動産売却領域」です。我々の主力サービス『[リビンマッチ](#)』の不動産売却領域のマッチングサービスを、更に拡大させ、圧倒的ナンバーワンを目指しています。

二つ目は、「非不動産売却領域」です。「非不動産売却領域」は、外壁塗装の比較サービスの『[ぬりマッチ](#)』や、VR住宅展示場の『[メタ住宅展示場](#)』など、新サービスで拡大させてまいります。

三つ目は、「不動産DX」領域の拡大です。こちらは業務支援システムなどの不動産業界のDXを推進するサービスが該当します。今回、『[BAIZO KANRI](#)』事業の譲受で進捗しております。

2023年9月期通期決算見通し

通期の業績予想は、期初計画通り

- 営業収益：35.0億円 前期実績比：15.5%増
- 営業利益：5.0億円 前期実績比：31.7%増
- 経常利益：5.0億円 前期実績比：31.4%増

P/L実績・見通し

(千円)	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	
	実績	実績	実績	通期業績予想	前期実績比
営業収益	2,444,396	3,242,983	3,029,520	3,500,000	15.5% 増
営業費用	2,410,254	3,103,641	2,649,836	—	—
営業利益	34,142	139,341	379,683	500,000	31.7% 増
営業利益率	1.4%	4.3%	12.5%	14.3%	14.0% 増
営業外収益	2,452	10,569	3,521	—	—
営業外費用	27,190	1,839	2,829	—	—
経常利益	9,404	148,071	380,375	500,000	31.4% 増
税引前当期純利益	9,404	148,071	380,375	—	—
法人税等合計	4,015	59,390	144,950	—	—
当期純利益	5,389	88,741	235,425	272,000	15.5% 増

LIVING TECHNOLOGIES INC. | 12

2023年9月期通期の見通しです。

進行期の業績見通しは、営業収益35.0億円、営業利益5.0億円、経常利益5.0億円です。通期の業績予想は、期初計画通りとなっています。

■ 本資料の取扱いについて

- 本資料において提供される数値ならびに情報は、いづゆる「見通し情報」を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述と異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等が発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の記載内容に関する更新・修正の義務を負うものではありません。



以上で 2023 年 9 月期第 2 四半期決算説明を終了させていただきます。どうもありがとうございました。